

a journal



NAGOYAKINEMA
NEU

ナゴヤキネマ・
ノイ

5 2025
月号

〒464-0850

名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F

Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

5月の定休日
火曜日

13・20・27・6/3

毎月発行

RESERVATION

■各作品の10日前から上映1時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10日前から当日までの窓口受付(座席指定)をご利用ください。

PLATFORM



公式サイト 公式 Facebook 公式 X 公式 Instagram
@nkn_2024 @nkn_2024

上映スケジュール表は2面をご覧ください

ACCESS



ナゴヤキネマ・ノイ

- ▶地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩3分
- ▶今池スタービル2F(契約駐車場なし)

4.19(土)~5.9(金)

『ドマーニ! 愛のことばで』

監督: パオラ・コルテッレージ (2023年 118分)



4.26(土)~5.23(金)

『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』

監督: レオス・カラックス (2024年 42分)



4.26(土)~5.16(金)

『104歳、哲代さんのひとり暮らし』

監督: 山本和宏 (2024年 94分)



5.3(土)~9(金)

ガイ・マディン~倒錯する悪夢の狂宴~

《2作品/入替》



- ①ギムリ・ホスピタル (1988年 72分)
- ②アークエンジェル (1990年 78分)

5.10(土)~23(金)

『ウリリは黒魔術の夢をみた』

監督: ティミー・ハーン (2018年 124分)



5.10(土)~23(金)

ボリビア / ウカマウ集団の軌跡

《6プロ/入替》

- ①女性ゲリラ、フアナの闘い - ボリビア独立秘史 - (監督: ホルヘ・サンヒネス 2016年 103分 初公開)
- ②30年後 - ふたりのボリビア兵 - (監督: ホルヘ・サンヒネス 2022年 110分 初公開)



- ③落盤 (1965年 20分)
- ④コンドルの血 (1969年 75分)
- ⑤第一の敵 (1974年 98分)
- ⑥地下の民 (1989年 125分)
- ⑦鳥の歌 (1995年 100分)

●トーク: 5/10(土)①の上映後。
太田昌国さん(シネマテーク・インディアス)

5.17(土)~23(金) 『the MAIDEN メイデン』公開記念
クレプスキュール フィルム レトロスペクティヴ

《6作品/入替》



- ①WANDA/ ワンダ (バーバラ・ローデン 1970年 103分)
- ②ノベンバー (ライナル・サルネット 2017年 115分)
- ③私、オルガ・ヘパナロヴァー (ペトル・カズダ、トマーシュ・ヴァインレブ 2016年 105分)
- ④栗の森のものがたり (グレゴール・ボジッチ 2019年 82分)
- ⑤システム・クラッシャー (ノラ・フィンクシャイト 2019年 125分)
- ⑥ヒューマン・ボジション (アンダース・エンブレム 2021年 78分)

5.24(土)~

『the MAIDEN メイデン』

監督: グラハム・フォイ (2022年 117分)



5.24(土)~6.6(金)

ワン・ビン『青春』3部作

《3作品/入替》



- 第1部 青春 - 春 - (2023年 215分)
- 第2部 青春 - 苦 - (2024年 226分 初公開)
- 第3部 青春 - 帰 - (2024年 152分 初公開)
- ※第1・2部は、途中休憩あり。

5.31(土)~

『能登デモクラシー』

監督: 五百旗頭幸男 (2025年 101分)

●舞台挨拶: 6/1(日) 五百旗頭幸男監督



5 月上映スケジュール表

5/13・20・27・6/3(火)は休館です。

※4/29・5/6(火)は開館いたします。

5/3(土)～9(金)

	5/3(土)	4(日)	5(月)	6(火)	7(水)	8(木)	9(金)
11:00	『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』						
12:00	『104歳、哲代さんのひとり暮らし』						
13:50	『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』						
14:50	『ドマーニ！ 愛のことづて』						
17:10	『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』						
18:10	ガイ・マディン『ギムリ・ホスピタル』						
19:40	ガイ・マディン『アークエンジェル』						

5/10(土)～16(金)

	5/10(土)	11(日)	12(月)	14(水)	15(木)	16(金)
11:00	『104歳、哲代さんのひとり暮らし』					
12:50	『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』					
13:50	『ウリリは黒魔術の夢をみた』					
16:15	①女性ゲリラ	②30年後	⑤地下の民	④第一の敵	⑥鳥の歌	③コンドルほか
18時台	18:45④第一の敵	18:30⑥鳥の歌	18:40③コンドルほか	18:15①女性ゲリラ	18:15②30年後	18:10⑤地下の民
20:30	『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』					

5/17(土)～23(金)

	5/17(土)	18(日)	19(月)	21(水)	22(木)	23(金)
11:00	②30年後	①女性ゲリラ	④第一の敵	⑤地下の民	②30年後	①女性ゲリラ
13:20	『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』					
14:25	『ウリリは黒魔術の夢をみた』					
16:50	①WANDA	④栗の森のものがたり	⑥ヒューマン・ポジション	②ノベンパー	⑤システム・クラッシャー	③私、オルガ
18-19時台	18:50②ノベンパー	18:30⑤システム	18:30③私、オルガ	19:00①WANDA	19:10④栗の森の	18:50⑥ヒューマン

5/24(土)～5/30(金)

	5/24(土)	25(日)	26(月)	28(水)	29(木)	30(金)
11:00	『the MAIDEN メイデン』					
13:20	青春第1部	青春第3部	青春第2部	青春第1部	青春第3部	青春第2部
16-17時台	17:15 青春第2部	16:15 青春第1部	17:30 青春第3部	17:15 青春第2部	16:15 青春第1部	17:30 青春第3部

5/31(土)～6/6(金)

	5/31(土)	6/1(日)	2(月)	4(水)	5(木)	6(金)
11:00	『能登デモクラシー』					
13:00	『the MAIDEN メイデン』					
15:10	青春第2部	青春第3部	青春第2部	青春第3部	青春第2部	青春第3部
18-19時台	19:25 青春第3部	18:10 青春第2部	19:25 青春第3部	18:10 青春第2部	19:25 青春第3部	18:10 青春第2部

ご入場料金・入替制

一般 1800円 大学生・会員 1400円 高校生以下 1000円 シニア(60歳以上) 1300円
障がい者・会員(シニア・学生) 1100円 ペア割(2名) 2800円

○会員サービスディ: 木曜日 会員・障がい者 1000円・会員1名とのペア(2名) 2000円
○ファーストディ 一般 1200円 会員・障がい者 1000円

『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』、<ボリビア/ウカマウ集団の軌跡> **入替制**
1作品 一般 1500円 会員・大学生・シニア・ペア 1300円
会員(学生、シニア)・障がい者 1100円

会員募集

お申込日から1年有効で2000円。
会員特典は当日ご料金の割引のみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

ワン・ピン『青春』3部作 **入替制**
一般 2000円
会員・大学生・シニア・ペア・障がい者・サービスディ 1800円

『ドマーニ！ 愛のことづて』

戦後でもないイタリア、ローマ。半地下の家に6人で暮らすデリア(パオラ・コルテッレージ/監督・主演)は内職を掛け持ちしながら家族の世話に追われている。そんな生活の支えとなるのが青春時代の記憶、そしてそれぞれの境遇を生きるローマ下町の女性たち……。絶妙なコメディタッチで描かれる生活の苦闘から飛躍するラストシークエンスをぜひ見届けていただきたい！今を生きる私たちに大きな贈り物をもたらす(驚きの)傑作です。(118分)

『IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー』

レオス・カラックス監督待望の新作。『汚れた血』を筆頭に自作の映像と音声の断片を『ゴダールの映画史』ばりに再構成し、ときに自己模倣と自己言及、そして解体を繰り返しながら、解放と再生を高らかにうたう中編映画。彼の語る自分史は真実なのか誇張なのか、あるいは捏造なのか。得意のハツリもかましながら、ダイレクトに映画の歴史に接続される断片の数々が、美しく映画として浮かび上がる。(40分)

『104歳、哲代さんのひとり暮らし』

広島県尾道市の山あいの町でひとり暮らしを続ける石井哲代さんの101歳から104歳までを綴る。戦中に教員として働き、夫を見送り、今は姪や近所の人と助け合い笑いあって過ごす……老いることの効用を見出して長期取材をしたのは、広島でTVドキュメンタリーを制作してきた山本和宏監督。ナレーション:リリー・フランキー。(94分)

ガイ・マディン

～倒錯する悪夢の狂宴～ 2作品 / 入替

天然痘患者を幽閉する19世紀末の病院で、まるで遺棄されたフィルムから産み落ちたかのような禍々しいイメージに包まれる『ギムリ・ホスピタル』(72分)、そして第一次世界大戦を背景に兵士たちの倒錯的な愛を描いた『アーケエンジェル』(78分)によりデヴィッド・リンチの後継として80年代末に世界を驚愕させあの『アスター監督もハマった秘宝作品を公開』

『ウリリは黒魔術の夢をみた』

ラブ・ディアス(『立ち去った女』)を輩出した先鋭的なフィリピン映画のシーンから、現実社会をつき抜け、かつてないサイケデリックなイメージへ昇華する傑作が登場。カルト教団の黒魔術に身を委ね、米国兵士との間にできた新生児ウリリにNBAのプロ選手になる運命を託して逝った母カルメン。破天荒な叔母の元で成長したウリリは母の血を浴びた遺品の日本の旧車ギャランとキュートでビッチな恋人を手に入れても、クソツラな人生はどこまでも続く。魔術は彼を一体どこへ連れていくのか…。124分。

ボリビア / ウカマウ集団の軌跡

6プロ / 入替

先住民(アイマラ人、ケチュア人ら)と共に植民地支配と闘う映画制作を1960年代から続け、G・サドゥールやJ-L・ゴダールも矚目した、ボリビア/ウカマウ集団の初公開作と傑作選。日本の上映による協働活動50周年目でもあり、太田昌国さんをお迎えしてイベントを開催。初公開は、スペインからの解放を闘った伝記『女性ゲリラ、フアナの闘い-ボリビア独立秘史-』(103分)、1930年代のバラグアイとのチャコ戦争を共に戦った、民族と階級の異なる兵士の友情を綴る『30年後-ふたりのボリビア兵-』(110分)。北米平和部隊の医療チームがアンデスで行った不妊手術を暴く『コンドルの血』(75分)、都市のゲリラと農民の共同闘争を描く傑作『第一の敵』(98分)、先住民のアイデンティティの喪失と再生を描く感動的な『地下の民』(125分)、スペインからの征服者を描く映画撮影にきた白人たちの内省をたどる『鳥の歌』(100分)はジェラルディン・チャプリンが主演。

クレブスキュール フィルム

レトロスペクティヴ

6作品 / 日替

ミニシアターは、小規模ながら質の良い作品を見つけてくれる配給会社があつてこそ成り立っています。クレブスキュールもまた、1年に2作品ほどのペースで秀作を紹介してきた会社です。最新配給作品『メイデン』公開を記念して、これまでの配給作品をまとめてご覧いただける企画をお届けします。『WANDA ワンダ』(103分)『ノベンバー』(115分)『私、オルガ・ヘブナロヴァー』(105分)『栗の森の物語』(82分)『システムクラッシャー』(119分)『ヒューマンポジション』(78分)。いずれも、忘れがたい映画体験になること間違いなしの逸品揃いです。

『the MADEN メイデン』

アメリカ文化の影響を強く受けるカナダ、アルバータ州カルガリーに住む高校生たちの青春群像。スケボー、カウボーイハット、夏の陽射し、そして、死。線路沿いに広がる田園風景の中で繰り広げられる、思春期の少年少女の友情と孤独、そして大きな喪失感を描く。夕方の淡く美しい光を写しとる16ミリフィルムの手触りが、高校生たちの心の揺れを伝え、映画の未来への期待をも感じさせる。新鋭グラハム・フォイ監督の長編デビュー作。(117分)

ワン・ビン『青春』3部作

3作品 / 日替

中国社会の現実を生々しく描き続ける王兵(ワン・ビン)監督。昨年公開された第1部『青春-春-』(215分)に続く、第2部『青春-苦-』(226分)、第3部『青春-帰-』(152分)の一挙公開となる。引き続き、長江デルタ地域の織里(しよくり)という町の縫製工場で働く若者たち

next arts 通信

Bluebird Sign / 青い鳥のしるし

いま一番忙しい美術家のひとは、中崎透さんではないかと思う。全国のおちの芸術祭で、滞在型の制作を展開していて、『瀬戸内国際芸術祭2025』春会期(5月25日まで)には瀬戸大橋エリアの瀬戸島ブリュネット「SAY YES」をデレクションしている。それにしても昨秋は岐阜県下呂市の「南飛騨 Art Discovery」に参加していたかと思えば、大分県別府市のアートプロジェクト「ALTERNATIVE-STATE」第5弾の招聘アーティストとして、巡回型インスタレーション作品に取り組んでいた。

『Bluebird Sign / 青い鳥のしるし』は、昭和の温泉地の風情が各所に残る中心市街地約25ヶ所に設置された約30点の看板やオブジェなどの作品。三人の市民へのインタビューを紡ぐことで、中崎流の看板が製作され、そこに交錯する人生のエピソードが添えられている。この物語の断片に誘われながら2時間くらいで街を歩くのは、なかなか楽しい。しっかりと背景も紹介されている記録本も出版されて、作品もいつでも観ることができる。こうした制作が可能なのは、中崎さんの作家としての力量と人間力はもちろんのこと、主体となるNPOとプロジェクトをきめ細かくコーディネートする堀切春水さんのような人の存在が大きい。さらに「清島アパート」に滞在する活気ある若い作家たちの存在もだ。

【トトチ】

無知の知

(その8) バイオコンピューターの登場

今、AI(人工知能)の開発が盛んである。次世代の産業革命という専門家もいる。最近、AIが書いた科学論文が審査を通り話題になっている。AIを使って卒論を書く大学生もいる。近い将来、国会答弁にAIが登場するかもしれない。こうしたAIの利用について社会がどこまで受け入れるべきか。現在はその便利さだけが強調され推進されている。一方、AIは膨大なデータ処理に莫大なエネルギーが必要で、それが世界的な原発回帰の理由にもなっている。そうした状況に対処する新たな技術が登場した。

バイオコンピューターという。人間の脳を持つコンピューターである。ヒトの脳細胞を培養し、これに電極を結合する。電極を通じて指令信号を送り、反応信号を取り出す。従来のAIに比べて圧倒的に小型化、反応も早い。オーストラリアの企業Cortical Labsは、このバイオコンピューターを初めて商品化した(バイオAIと簡略)。一台530万円程度、この6月から販売予定だ。電力消費はAIの数億分の1で済む。AIにはきれいな水が沢山必要だがバイオAIにはあまり要らない。バイオAIを搭載したロボットも世界各地で開発中だ。近い将来、企業が雇う労働者の数は激減するかもしれない。世界的な人口減少もその推進の口実になる。

人類の未来はどうなる? どうする?

(K)

の労働と日常が活写される。給料の支払い拒否や、社長の夜逃げが起き(第2部)、春節に帰省しても、故郷では仕事がなく、休みが終われば再び工場にやってくる(第3部) 彼らの日常は極めてドラマティックで、ワン・ビン作品らしく、ドキュメンタリーのイメージが大きく拡張される。

『能登デモクラシー』

2024年1月の大地震の傷、いまだに癒えない石川県能登地方。本作は能登半島の中央に位置する穴水町の中心部を離れた限界集落に住む元中教員滝井元之さんが個人発行する地域新聞「紡ぐ」に注目することから始まるドキュメンタリー作品。『はりばて』では富山県議会、『裸のムラ』では石川県政に切り込んだ五百旗頭監督の最新作は、地域新聞「紡ぐ」を通して見る穴水町政治。予期せず起きた大地震を挟んで、長い時間をかけた取材は、地域のために必要とされる政治とは何かをあぶり出す。(101分)

パット、みて、ポン!

名古屋の演劇界が活発なのはさておき、公演数は増えてきているように思う。ただ、それは小劇場系に関してのことで、規模の大きな商業演劇の公演は少ない。なぜなら席数1,000程度のホールが少ないからだ。中日劇場、名鉄ホールが無くなって久しい。金山にある市民会館も2028年3月に閉館する予定だ(建て替えによる再開は2035年?)。そんなところ名古屋駅近くにあるウイングあいち(席数800程度)のみとなる。したがって演劇のツアー公演は結果的に名古屋で行われず、言わば名古屋飛ばしとなる。かつて新幹線のぞみが運転を始め、東京-大阪間をノンストップで走った時、この地の経済界は名古屋飛ばしに声を荒げたが、彼らは文化による経済活性化効果を期待していないのか。映画の製作環境をみると、各地のフィルムコミッションが精力的にロケ現場を誘致し、聖地崇拝と呼ばれる活動を引き出している。演劇では困難なのか。この地では「あいちトリエンナーレ」が名を変え「国際芸術祭あいち」として開催される。演劇を含む舞台公演があるが数は少ない。芸術とはなにか? 広義と狭義があるだろうが、いつも定義に迷う。定義すること自体がナンセンスなのかもしれないが、タイトルにその文字を入れるならば、使う側はそれを明確にする必要があるのではないか。人は色々とまとめたり、筋道を立てたがったりするが、どうだろう。なぜそうしたのかは分らなかつたという、ゲシュタルト学派のいうプレグナントの法則にも示されている。と書いて拙文を読み返す。はたしてまとまりが有るのか無いか。

(P)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

高齢化と共に加速する少子化が様々な分野に影響を及ぼしている。大学もその例外ではない。18歳人口が減少し続け、学生確保に四苦八苦している私立大学は多い。報道によれば、約6割が定員割れを起こしており、小規模な私立大学は存続が危ぶまれる状況に追い込まれている。

では、国立大学は安泰かというところ、そうではない。昨年11月刊の『限界の国立大学』(朝日新書)は、アンケート調査をもとに、今や「残酷立」とまで言われるようになった実態を詳細に綴っている。2004年の国立大学法人化は、文科省支配から脱し自由度を高め、多様な大学を目指すものであった。しかし、国からの運営交付金の削減が続き、非正規の教員・職員が増加する一方で、常勤の教職員が減り続けたことで、事務業務などに忙殺される状況に陥っている。

そのため、教育・研究力は低下し続けている。また「選択と集中」という政策によって、大学間格差が拡大し、競争的資金や寄付金の獲得が難しい地方の国立大学は苦境に立たされている。こうした状況では、世界に肩を並べるところではなく、崩壊すら危惧されると言っていよいよ。

半世紀前の大学闘争でも提起された、学問とは何か、大学とは何かという本質的問いに向き合うことなく、理念なき制度「改革」を推し進めてきた結果と言つてよいだろう。

法人化から20年、歪みが顕著となっている制度は根本的に見直す時期にきている。

いなかのじけん

アウトレットモール

何かが間違つて、田んぼの真ん中にM井アウトレットモールがやってくる。日本には農地法というのがあって、基本、農地は農地にしなければならない。が、そこはそれ、蛇の道はへびで、スツと決まった。規制緩和だそう。農政のドン、N中弘務氏の目の黒いうちは許されなかった。白くお変わりになった途端あちこちで始まった。間違つてんだから、計画もへつたくれもあつたもんじゃない。高速道路のインターチェンジがそばに出来た、というだけでGoサインが出た。そこは大型農機の入る土地改良区の優良農地、税金も使われている。昨今のコモ騒動があつて、農地を集約しコストを抑えて、そうしてコモを輸出するのだ、不足になったらそれを回せばよい、と大きく舵を切っている最中での、これである。そこは交通の要で、日本の物流にも悪影響が出るんじゃないだろうか、という大きな心配は杞憂に終わることを願うとして、地元の大渋滞は必至、年間1千万人の来場をと、鼻息も荒い。おそらく休日には車の移動は不可能になり、町に閉じ込められる。畑を持つものはそれを耕し、持たざる者はテレビ見てビール飲むしかない。暑い夏には涼を求めてモールに出向き飲みもするだろう、寒い冬には熱燗と話し相手求めて出かけるだろう、自転車だ。そして帰りに飲酒運転で捕まってしまうのだ。そんなデイストピアを回避させるには、1千万人の皆様のご協力が必要です。電車でお越しください。プラットホームから見えますから。

**ナゴヤ
キネマ・
ノイ**

協力店

NAGOYA
KINEMA
NEU

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
【院内処方 / 保険診療】

診療時間
午前 10時～13時・午後 15時～20時
毎週土曜・日曜・祝日休診

地下鉄伏見駅⑩番出口より徒歩2分

☎052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

**BAR
パルク**

(円頓寺 Les Piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに

名古屋市中区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)

国際センター 駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑧出口から徒歩8分

不定休
詳細はツイッター@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC

Tokuza は
朝までやってる
呑み屋である。

052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
キネマ・ノイより北、広小路通へ
抜ける手前の青いビル 2F

open house
Analog Recordと
Restaurant Bar

052-753-4300
年中無休 pm6:00～am1:00
キネマ・ノイより東、環状線に
抜けた角、中屋パン地下 1F

**JAZZ
MATILDA**
DRINK & FOOD

●乳栄 入江町通
●かに本家 三蔵通
●プリンセス 白川通
●カーブホテル

●黒髪に入れる小さなお店です
●お一人様大歓迎。●日・月曜定休 ●麻料 ¥500
●オーダー ¥300～ ●営業時間 19:00～24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F
☎052-263-6272

**パンクをしたら
DAISY**

052-228-0977

急ぎの荷物も当日お届け！
自転車便・自転車出張修理
ディーメッセセンター
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon **VARIÉTÉ**
WEB: http://variete.hp4u.jp

ヘアサロン バリエテ

●営業時間
平日 11:00～21:00 土日祝 10:00～19:00
●定休日
月曜・第3月火曜連休
千種区池下1-6-20 ☎751-7774
(チサンマンション池下203号) 1Fに「トゥリエール」のあるビル

感じる、考えるひとのための本屋

bookshop & gallery
ON READING

www.onreading.jp
on_reading

地下鉄龜山公園駅2番出口より徒歩1分

女性専門 からだほぐし&足つぼ

みずたま

みかげさまで18周年
本山駅6番出口すぐ
10:00-20:00 火曜・第1/3水曜定休
052-781-8239

アリガト

髪切って、凛とする。

〒464-0074
千種区中田2-18-23
052-761-7723

SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房

ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩5分。古本屋です。

名古屋市中区今池 5-14-3
11:00 - 18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ

南丸

ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もご用意です。
キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00～7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市中区今池3-2-9マビルディング1階

骨董・古書・美術品

こもれび

鑑定・買取

昭和区 桜山
☎052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リチル

地下鉄今池駅徒歩1分

愛知県産
農業・化学肥料ゼロ栽培

まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200

くらしを耕す会

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん

**鞠奴パン
食堂**

●営業日 / 水・全曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鈴の木31-2 060(4301) 3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法

**帰来堂
鍼灸療院**

地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30 (最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制) kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEBビル202

おもしろ 楽し
三味線教室

無料体験しませんか
清元美哉 廣

090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く

群れない魂の止まり木
星屑珈琲

静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩

本と酒
**ANZAI COVERDOCK
安西コブド**

19時～27時
不定休

Akram Khan's Jungle Book reimagined
アグラム・カーン
**ジャングル
ブック**

環境をテーマにしたダンス&アニメーション

自然と動物たちの賛歌

6月28日(土) 16:00
【全席指定】
S席 6,500円 U25 S席 3,500円
A席 5,000円 U25 A席 2,500円 ほか

愛知県芸術劇場大ホール
Photo: Camilla Greenwell Animation Exports by YeastCulture

お問合せ 愛知県芸術劇場 052-211-7552 Email: contact@aaf.or.jp

印刷のことなら何でもご相談ください。

http://mokumoku.asia

名古屋瑞穂区 tel 052-852-7611

ロックの礎を築いた男：レッド・ベリー
ビートルズとボブ・ディランの原点

公開記念
トークイベント

～謎めく巨人、レッド・ベリーの足跡と残響～

6/4(水)

協力：NEGA / ナゴヤキネマ・ノイ

小川真一 (音楽評論家)
いとうたかお (フォークシンガー)
鏡味徹治 (NETWORK 初代オーナー)
聞き手：森田裕 (TOKUZO)

「グッドナイト・アイリーン」「ミッドナイト・スペシャル」
数多くのアメリカン・ルーツ・ミュージックの源流はレッドベリーにある。
500曲以上を残した彼の人生と、歌い継がれてきたその波紋をたどってみよう！

18:00open 19:00start
予約 ¥1,500 当日 ¥1,800

at: **Tokuza**

名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集

平野勇治 著
安住恭子 発行

小さな映画館から
1650円(税込)

ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

あなたにも
パレスチナ連帯

BDS JAPAN

https://bdsjapanbulletin.wordpress.com/